

ごあいさつ



将来に向かって 夢と希望が持てる まちづくりに取り組みます

松浦市長 友広 郁洋

寅

平成二十二年

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

昨年は、一昨年初秋以来続く金融危機、景気低迷、雇用不安など厳しい1年であり、また、国政では衆議院の解散総選挙、政権交代へと大きな変化があった1年でありました。

本市にとりましては、4月には待望の鷹島肥前大橋が開通、7月には松浦市福岡事務所開設、11月には松浦市地方卸売市場松浦魚市場開設30周年、マツカイ・松浦姉妹都市提携20周年並びに松浦港開港21周年など記念すべき事柄が多いう年であったと思います。

新市4年間としては、目指すべき将来像を「次代をはぐくむ 産業創造都市まつうら」と定め、その実現に向けて、西九州自動車道の建設促進をはじめ、企業誘致活動と既存企業の育成支援、和牛繁殖雌牛1000頭増頭計画、体験型旅行・グルメ観光事業の拡充支援などに取り組んでまいりました。また、新市の基礎づくりの期間と定め、市議会や市民の皆さまのご理解とご協力をいただきながら行財政改革に取り組み、平成20年度決算では、新生松浦市として初めて実質的な黒字を計上できるまでに改善し、新たな取り組みの財源の目途を立てることができました。

今日の社会経済情勢は、なかなか先を見通せない状況ですが、状況の変化を的確に見極め、スピード感を持って対応してまいりますとともに、安全で安心して生活できるまちづくり、産業振興による雇用の場の創出、定住人口・交流人口の維持拡大に向けた諸施策を展開し、将来に向かって夢と希望が持てるまちづくりに積極的に取り組んでまいります。その1つとして、これまで建設に向けて準備を進めてまいりました御厨小学校校舎、東部交流センターおよび福島つばき荘につきましては、今年からいよいよ建設工事に取り掛かります。

どうか本年も市政推進に、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民皆さまにとりまして、すばらしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

謹んで

新年のごあいさつを

申し上げます

平成二十二年 元旦

松浦市

市長 友広 郁洋
副市長 寺澤 優 國
教育長 松尾 紘

松浦市議会

議長 中塚 祐介
副議長 志水 正司
議員 下久保 直人

高橋 勝幸
山口 芳正
白石 光一郎
竹本 伸太郎
吉原 順穂
久枝 邦彦
尾野 一男
金内 武久
友田 吉泰
吉富 武志
鈴木 靖幸
木原 勇一
松山下 英俊
椎山 賢治
板谷 國博

新年の



市民と連携し、
郷土松浦の発展に
取り組みます

松浦市議会議員 中塚 祐介

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた平成22年の新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

また、日ごろから市議会に対し、特段のご理解、ご協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。さて、新しい松浦市が誕生し、4年が経過いたしました。この間、我が国の社会・経済情勢は大きく変化し、その対応は、一層複雑、多様化してきています。

昨年は、政権交代による大きな政治変革の年となり、国民が政治の動きに注目した年でもありました。しかし、日本経済は、長引く不況から脱却できず、企業倒産、企業の採用中止など、特に若い世代の雇用不安を引き起こし、ますます地域経済が疲弊してきています。

このような中、本市におきましては、新生松浦市の調和の取れた発展を目指し、完成した鷹島肥前大橋による地域経済の浮揚、西九州自動車道の早期完成、さらには体験型観光事業の推進などを押し進めることにより地域の活性化、本市の市勢伸展が図られているところでもあります。

市議会といたしましても、より豊かな住みよいまちづくりを目指し、行政とともに市民皆さまと手を携え、郷土松浦の発展に向けて誠心誠意取り組んでまいりたいと考えています。

結びになりますが、本年が市民皆さま、松浦市にとりまして飛躍する素晴らしい1年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。



長崎ならではの歴史や文化の魅力を
大いに発信していきます

長崎県知事 金子 原二郎

新年明けましておめでとうございます。県民の皆さまには、おすこやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本県などを舞台としたNHK大河ドラマ「龍馬伝」がいよいよ1月3日から放送されます。長崎が舞台となるこのドラマの放送が観光振興の起爆剤となるものと期待しています。このほかにも、長崎ならではの歴史や文化の魅力を大いに発信していくことで、一人でも多くの皆さまに本県にお越しいただきたいと考えています。

企業誘致関係では、昨年10月に、全日本空輸（ANA）のコールセンターが長崎市に立地することが決定し、今後約450人



2010年は松浦の皆さんをマツカイ市に、
お迎えできることを楽しみにしています

オーストラリア・マツカイ市長 コール・メング

マツカイ市を代表いたしましたして、松浦の皆さんの新年におけるご安全とご繁栄をお祈り申し上げます。

昨年は、私たちの繁栄する姉妹都市関係にとつて特別な意義をもった年でした。

マツカイ・松浦姉妹都市提携20周年記念式典の際には、これまで姉妹都市交流にかかわってきた人たちが参加し、思い出をよみがえらせた。さらにこの訪問は、私自身にとつても、妻のロンダにとつても、そして、松浦を初めて訪問した他の団員にとつても、素晴らしい経験となりました。私は、皆さんと再会すること、そして、これ

の新たな雇用が見込まれています。このような明るいニュースは、大変嬉しい経済雇用情勢が続く中、本県にとつてこの上ない喜びでありました。

また、昨年は、内村航平選手の世界体操競技大会の個人総合優勝や、清峰高校の選抜高校野球優勝などの明るい話題がありました。あらためてこれらの栄誉をたたえ、とともに、スポーツに励む県内の子供たちに大きな誇りと夢を与えてくれたと思っています。

本年が、皆さまにとりまして素晴らしい年となりますようお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

からも両市民の親しい関係が続いていくことを願っています。

新しい交流事業としては、青少年の絵の交換を行い、松浦の生徒の作品をマツカイで展示し、マツカイの子どもの作品も松浦で展示されることでしょうか。こういった交流を通して互いの文化を分かち合うことは、両市のきずなを強くする素晴らしい方法だと思えます。2010年には、松浦の皆さんをマツカイ市にお迎えできますことをとても楽しみにしております。

市民の皆さまの新年におけるご健康とご多幸をお祈りいたします。